

春の訪れを知らせてくれる早春の黄花



金色に輝くサンシュユ (2/24 撮影)

国営昭和記念公園（立川市・昭島市）の花木園梅園では、「黄色い花たち」の開花が始まりました！春を呼ぶにふさわしい黄色の花。サンシュユ、シナマンサクやフクジュソウなど、春はもうすぐそこだよ♪と、黄金色に輝き存在感を放っています。園内に鮮やかな黄色い花が溢れると、春が待ち遠しくなります。ぜひ取材・掲載のほどよろしくお願ひいたします。



特徴的な花を咲かせるシナマンサク (2/24 撮影)

【開花中の黄色いお花】

■サンシュユ■

花をよく見ると、小花が数十個集まって木全体を鮮やかな黄金色に染めます。その様子からハルコガネバナ（春黄金花）とも呼ばれます。

■シナマンサク■

枯れ葉を残したまま花が咲くので、葉に隠れて見えにくいことが多くあります。昨年末にはすでに葉が落ち始めていたので、今年は花が際立っています！細長く飛び出したひも状の花は、イソギンチャクや吹き出しおもちゃに例えられるほど特徴的な形をしています。

■フクジュソウ■

‘一番に春を告げる’から江戸時代には「福告ぐ草」と呼ばれ、その後、おめでたい「寿」を入れ「福寿草」になったと言われています。日が当たり温かくなると花が開き、夕方や曇りの気温の低い日は閉じています。



フクジュソウ (2/24 撮影)

春の花に黄色が多いのは、昆虫に受粉を手伝ってもらうため！「色」や「香り」で虫たちにアピールしています。春先にいち早く活動を始めるアブやハエは特に黄色い色に反応するそうです。香りの強い花も多いですね。すでに見頃を迎えた黄色い花「ナノハナ」や「ミモザ」、「ヨウズイセン」もお楽しみください！



ふわふわ可愛いミモザと、見頃のヨウズイセン (2/24 撮影)

